

## 心疾患—脳血管疾患死亡統計の概況(概要版)

厚生労働省発表資料

心疾患—脳血管疾患死亡統計の概況より抜粋

## 1. 日本における主要死因別粗死亡率の状況

## (1) 年次推移

明治から現在に至る主要死因の粗死亡率（人口10万対）の推移をみると図1のとおりである。明治から大正・昭和初期にかけては、「結核」、「肺炎」や「胃腸炎」など感染症が主であった。

「肺炎」は、大正7～9年にかけて「インフルエンザ」の大流行があり、その影響で高い粗死亡率を示している。

また、「不慮の事故」では、大正12年の関東大震災により粗死亡率が高くなっている。

その後、昭和20年代後半に感染症の粗死亡率は急速に低下し、かわって現在の三大死因である「悪性新生物」「心疾患」（平成7年以降の「心疾患」は「心疾患（高血圧性を除く）」である。以下同じ。）「脳血管疾患」が主たる死因となった。

「心疾患」は、平成7年1月施行の新しい死亡診断書において、「死亡の原因欄には、疾患の終末期の状態としての心不全、呼吸不全等は書かないでください。」という注意書きの事前周知の影響により平成6年に低下しているが、それ以降上昇傾向にある。

「脳血管疾患」は、昭和40年代をピークに低下傾向ではあるが、低下の幅は小さくなってきており、近年は低下から横ばい傾向となっている。（図1）

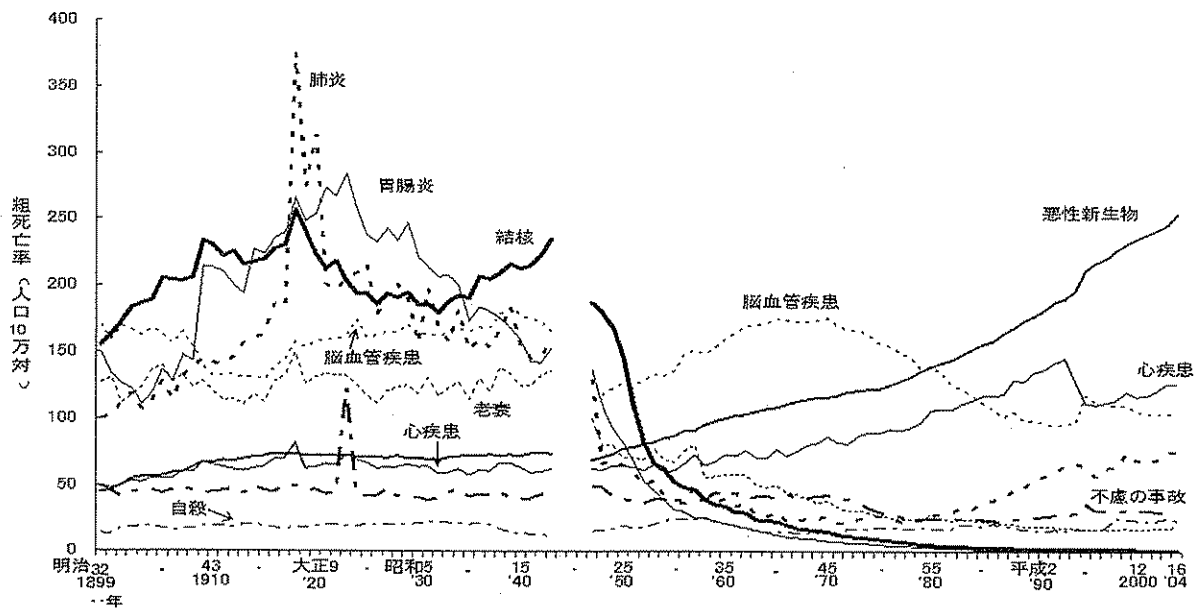


図1 主要死因別にみた粗死亡率(人口10万対)の年次推移

注：平成6年の心疾患の減少は、新しい死亡診断書(死体検案書)(平成7年1月1日施行)における「死亡の原因欄には、疾患の終末期の状態としての心不全、呼吸不全等は書かないでください。」という注意書きの事前周知の影響によるものと考えられる。

(2) 平成 16 年の状況

平成 16 年の状況を見ると、全死亡数 103 万人のうち、「心疾患」は 16 万人、「脳血管疾患」は 13 万人となっており、両者を合計すると 29 万人となり「悪性新生物」に近い死亡数となっている（表 1）。

表 1 性別にみた主な死因別死亡数・粗死亡率(人口 10 万対)・年齢調整死亡率(人口 10 万対) —平成 16 年—

死 因	死亡数			粗死亡率(人口10万対)			年齢調整死亡率(人口10万対)	
	総数	男	女	総数	男	女	男	女
全死因	1 028 602	557 097	471 505	815.2	904.4	730.1	588.3	297.1
悪性新生物	320 358	193 096	127 262	253.9	313.5	197.1	202.0	99.2
心疾患	159 625	77 465	82 160	126.5	125.8	127.2	80.6	44.2
急性心筋梗塞	44 463	24 180	20 283	35.2	39.3	31.4	25.3	11.5
その他の虚血性心疾患	26 822	14 834	11 988	21.3	24.1	18.6	15.5	6.7
不整脈及び伝導障害	20 274	10 070	10 204	16.1	16.3	15.8	10.7	5.7
心不全	51 588	21 047	30 541	40.9	34.2	47.3	21.2	14.9
脳血管疾患	129 055	61 547	67 508	102.3	99.9	104.5	62.5	37.0
くも膜下出血	14 737	5 543	9 194	11.7	9.0	14.2	6.6	7.4
脳内出血	32 060	17 643	14 417	25.4	28.6	22.3	19.0	9.3
脳梗塞	78 683	36 697	41 986	62.4	59.6	65.0	35.1	19.2
肺炎	95 534	51 306	44 228	75.7	83.3	68.5	48.8	20.4
不慮の事故	38 193	23 667	14 526	30.3	38.4	22.5	28.7	11.1

心疾患（脳血管疾患）粗死亡率（総数・男・女）

$$= \frac{\text{年間の年齢階級別心疾患（脳血管疾患）死亡数（総数・男・女）}}{\text{10月1日（平成16年）現在の日本人人口（総数・男・女）}} \times 100,000$$

心疾患（脳血管疾患）年齢調整死亡率

$$= \frac{(\text{観察集団の年齢階級別心疾患（脳血管疾患）粗死亡率} \times \text{基準人口集団の年齢階級別人口}) \text{の総和}}{\text{基準人口集団の総和}} \times 100,000$$

※ 年齢調整死亡率とは、年齢構成の異なる人口集団の間での粗死亡率や、特定の年齢層に偏在する死因別粗死亡率について、その年齢構成の差を取り除いて比較ができるように調整した粗死亡率をいう。本資料では国際比較を除き、基準人口は、昭和 60 年モデル人口である。

## 2. 諸外国との比較

諸外国の「心疾患」と「脳血管疾患」の粗死亡率(人口 10 万対)を年齢階級別にみると、「ロシア」が若い年齢層から高くなっている。また、直近の年齢調整死亡率(人口 10 万対)をみると、我が国は欧米諸国と比較して、「心疾患」では男女ともに低く、「脳血管疾患」では男でやや高くなっている。

近年の年次推移をみると、「心疾患」は「ロシア」を除いた欧米諸国では減少傾向にあるが、我が国では横ばいとなっている。「脳血管疾患」では、「ロシア」を除いて横ばいとなっている。(図 2、表 2、表 3、図 3)

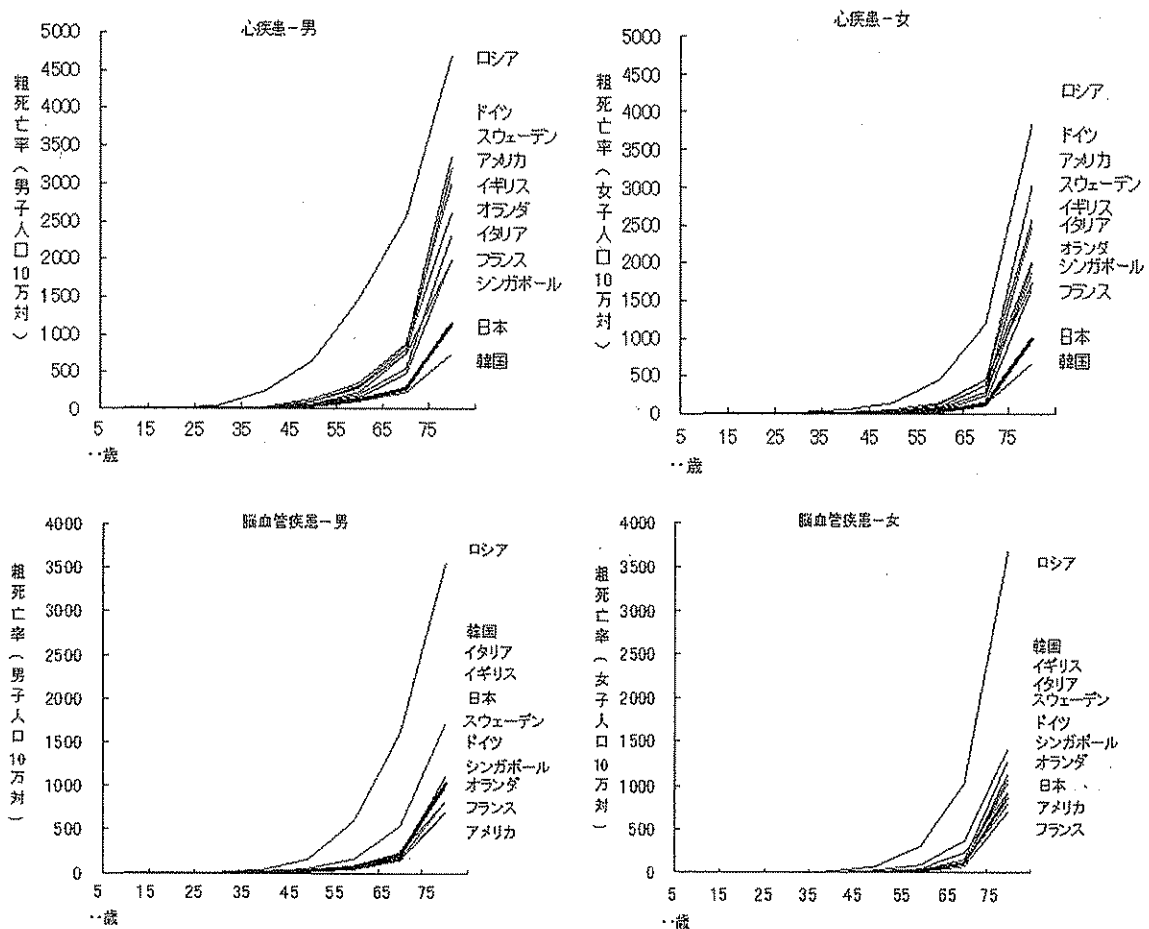


図 2 性・年齢(10歳階級)別心疾患—脳血管疾患粗死亡率(人口10万対)の国際比較

資料 : WHO「World Health Statistics Annual」

注 : 1) 日本の心疾患は「I26 肺塞栓症」及び「I28 その他の肺血管の疾患」を含む。

2) ロシアの心疾患は急性リウマチ熱を含む。

3) 国名は 75 歳以上の粗死亡率の高い順である。

表2 性・心疾患—脳血管疾患年齢調整死亡率（人口10万対）の国際比較

性	日本 2002年	アメリカ 2000年	韓国 2002年	シンガポール 2001年	フランス 2000年	ドイツ 2001年	イタリア 2001年	オランダ 2003年	ロシア 2002年	スウェーデン 2001年	イギリス 2002年
心疾患											
男	69.1	187.9	51.2	140.8	108.7	186.4	127.6	136.8	512.0	165.2	159.5
女	43.4	122.5	32.8	90.5	65.3	123.3	80.9	82.1	243.0	99.9	92.4
脳血管疾患											
男	55.2	35.4	102.6	46.6	34.4	46.5	49.2	38.9	267.0	45.6	50.9
女	37.4	35.3	73.1	44.1	28.1	40.8	43.2	37.1	201.1	42.4	51.7

資料:WHO[World Health Statistics Annual]

- 注:1)年齢調整死亡率の基準人口は世界人口である。日本も世界人口を用いた。  
 2)日本の心疾患は「I26 肺塞栓症」及び「I28 その他の肺血管の疾患」を含む。  
 3)ロシアの心疾患は急性リウマチ熱を含む。

表3 性・年齢（10歳階級）別心疾患—脳血管疾患粗死亡率（人口10万対）の国際比較

年齢階級	日本 2002年	アメリカ 2000年	韓国 2002年	シンガポール 2001年	フランス 2000年	ドイツ 2001年	イタリア 2001年	オランダ 2003年	ロシア 2002年	スウェーデン 2001年	イギリス 2002年
心疾患—男											
総数	122.9	241.8	39.0	121.1	172.4	285.2	236.1	193.8	553.4	321.6	262.7
5~14歳	0.7	0.7	0.8	-	0.4	0.6	1.1	0.4	0.7	0.9	0.4
15~24	3.5	3.1	2.4	3.8	1.8	2.1	3.2	2.8	8.8	1.9	2.0
25~34	7.6	8.8	5.8	5.0	3.9	6.1	8.7	5.7	59.8	3.5	6.0
35~44	19.7	38.2	17.4	25.1	22.0	26.9	22.9	24.7	239.0	15.1	27.0
45~54	53.7	131.9	43.0	103.7	67.5	101.5	73.9	83.4	637.9	78.3	103.0
55~64	115.1	356.3	100.9	317.0	157.5	292.2	192.5	214.3	1460.3	225.3	278.8
65~74	282.8	872.0	228.7	737.5	465.9	855.4	543.0	624.5	2563.3	733.2	792.9
75歳以上	1125.7	3011.9	734.4	1974.4	1981.8	3362.8	2315.1	2399.7	4688.7	3208.7	2605.3
心疾患—女											
総数	122.0	244.4	36.5	90.8	176.0	357.3	241.8	185.2	458.6	308.1	235.2
5~14歳	0.8	0.5	0.5	0.8	0.4	0.7	0.8	0.2	0.6	0.5	0.4
15~24	1.4	2.0	1.1	1.9	1.0	1.3	1.5	1.8	3.3	1.2	1.3
25~34	2.7	4.7	2.2	2.9	2.0	2.6	2.4	3.4	15.8	1.5	2.4
35~44	6.1	15.4	4.1	7.5	5.0	8.6	6.2	10.4	56.5	5.3	7.2
45~54	15.0	45.9	12.4	21.8	15.2	27.9	19.2	25.7	150.8	22.0	25.7
55~64	36.7	150.6	39.2	120.7	39.4	84.6	59.9	65.0	449.2	73.0	91.0
65~74	129.4	455.6	135.0	456.9	168.1	382.3	239.5	284.9	1199.9	290.3	374.0
75歳以上	997.7	2585.4	661.1	1735.2	1671.6	3037.3	1980.1	1885.9	3835.8	2495.1	2021.8
脳血管疾患—男											
総数	101.0	46.9	72.7	38.1	55.7	71.2	95.7	55.9	275.4	92.5	88.3
5~14歳	0.1	0.2	0.3	0.4	0.2	0.2	0.2	0.1	0.2	-	0.2
15~24	0.6	0.5	1.1	0.5	0.7	0.7	0.6	0.3	2.1	0.6	0.6
25~34	2.6	1.5	3.8	1.5	1.4	1.3	1.3	1.1	9.0	1.1	1.6
35~44	11.8	5.8	16.3	5.0	5.2	4.7	4.7	4.4	43.1	3.8	5.6
45~54	36.5	17.5	52.3	17.9	14.7	15.8	14.9	13.7	159.3	14.6	18.5
55~64	76.7	47.2	168.5	77.0	39.0	49.4	44.6	38.4	605.4	40.9	49.2
65~74	224.1	145.0	538.6	234.9	140.6	191.0	176.5	165.4	1619.3	174.8	202.0
75歳以上	1027.3	690.4	1717.6	829.5	699.8	989.2	1121.1	823.6	3553.4	1022.4	1101.4
脳血管疾患—女											
総数	105.6	71.8	81.7	44.3	74.2	118.8	132.4	85.2	396.6	131.6	138.0
5~14歳	0.2	0.2	0.2	-	0.2	0.2	0.2	0.3	0.2	0.2	0.2
15~24	0.6	0.5	1.1	0.5	0.3	0.7	0.4	0.8	1.2	-	0.5
25~34	1.5	1.5	1.5	1.1	1.6	1.2	1.4	1.7	4.0	0.3	1.3
35~44	4.9	5.7	6.7	2.8	3.9	4.3	3.5	6.5	17.7	2.7	5.4
45~54	17.4	14.5	25.4	8.1	8.3	10.5	10.3	13.6	76.9	11.5	15.7
55~64	36.3	35.3	87.7	43.4	18.0	24.3	23.5	24.2	304.0	27.4	35.6
65~74	107.7	115.1	366.8	222.0	76.1	115.0	108.6	100.7	1022.1	118.5	146.1
75歳以上	860.2	783.6	1414.8	913.0	690.7	1022.5	1120.4	898.7	3687.4	1072.6	1274.4

資料:WHO[World Health Statistics Annual]

- 注:1)日本の心疾患は「I26 肺塞栓症」及び「I28 その他の肺血管の疾患」を含む。  
 2)ロシアの心疾患は急性リウマチ熱を含む。

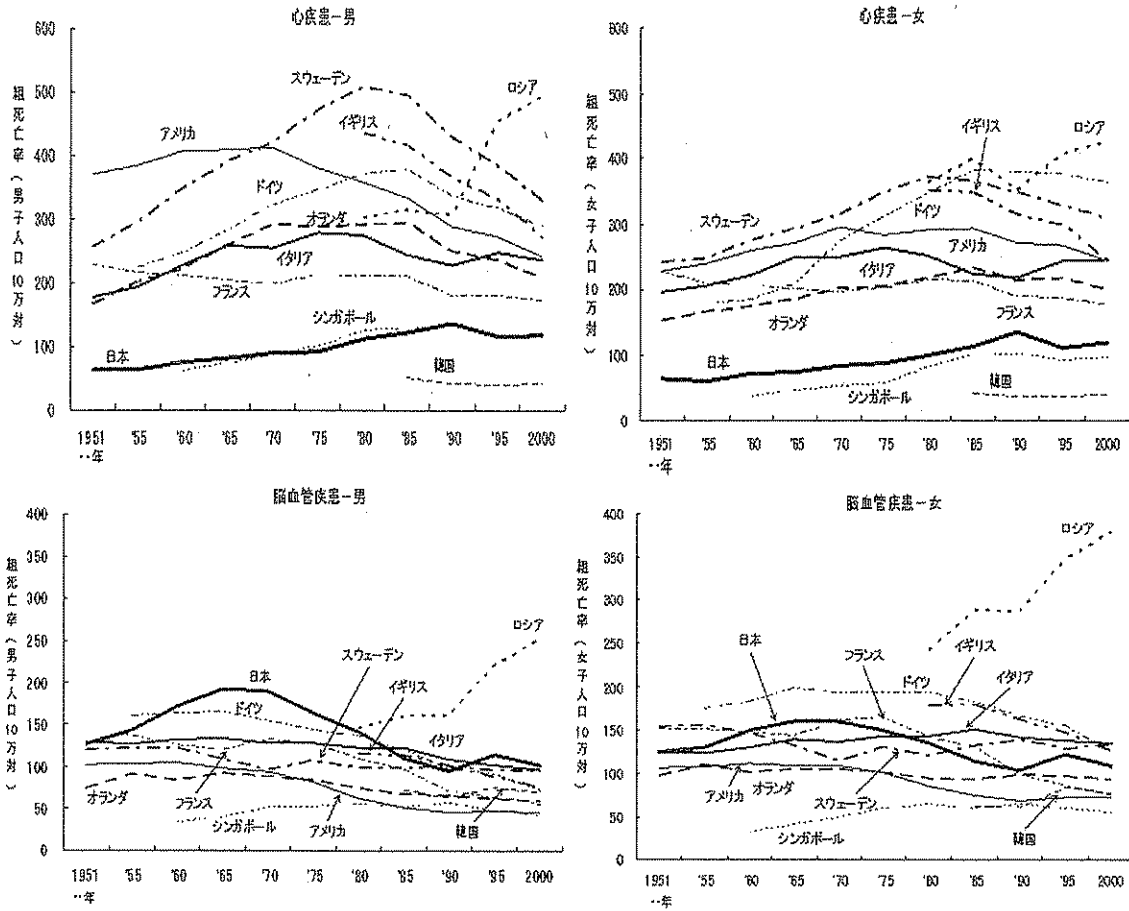


図3 性・心疾患-脳血管疾患粗死亡率（人口10万対）の年次推移の国際比較

資料 : WHO「World Health Statistics Annual」

- 注 : 1) 日本の心疾患は「126 肺塞栓症」及び「128 その他の肺血管の疾患」を含む。  
 2) ロシアの心疾患は急性リウマチ熱を含む。  
 3) 1990年以前のドイツは旧西ドイツの数値である。